

平成28年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」 における新東淀中学校の結果の分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成28年4月から7月末までの期間に、2年生を対象として、「実技に関する調査」と「質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、体力等の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの体力向上をめざしています。学校の現状や取組の参考にさせていただきたいと思います。

1 調査の目的（全国体力・運動能力、運動習慣等調査に関する実施要領より抜粋）

- （1）子供の体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- （2）各教育委員会、各国公私立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- （3）各国公私立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2 調査の対象

- ・国・公・私立学校の中学校第2学年、中等教育学校第2学年、特別支援学校中学部第2学年の原則として全生徒
- ・新東淀中学校では、2年生 192名

3 調査内容

- ・生徒に対する調査

ア 実技に関する調査（以下、「実技調査」という。測定方法等は新体力テストと同様）
中学校調査では、以下の種目を実施する。

〔8種目〕 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ（※持久走か20mシャトルランのどちらかを選択）

イ 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査（以下「生徒質問紙調査」という。）を実施する。

平成28年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」検証シート

大阪市立新東淀中学校

生徒数

192

平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール 投げ	体力合計点
男子	30.92	28.27	41.57	50.22	406.80		7.82	198.42	21.63	43.41
大阪市	29.29	27.51	40.96	51.76	411.55	83.43	8.09	191.49	20.42	41.25
全国	28.91	27.46	43.06	51.93	391.72	86.24	8.03	194.69	20.59	42.13
女子	24.63	23.29	46.14	44.62	308.48		8.96	165.88	13.34	48.18
大阪市	24.15	23.41	44.39	46.77	303.34	57.97	8.92	167.47	12.97	49.20
全国	23.75	23.48	45.46	46.60	288.51	58.80	8.83	168.28	12.85	49.56

結果の概要

男子については、「握力」「上体起こし」「50m走」「立ち幅とび」「ハンドボール投げ」の5種目で大阪市平均と全国平均を上回る結果であった。握力については、2kg以上上回る結果であった。50m走についても、0.2秒以上大阪市と全国平均を上回る結果となった。また、ハンドボール投げでも1m以上の差があり、良い結果となった。ただし、全身持久力や柔軟性にはまだまだ課題の残る結果であった。

女子については「握力」で大阪市平均、全国平均を上回る結果であった。「長座体前屈」でも、大阪市平均と全国平均を上回る結果となった。柔軟性が非常に高いのが特徴的である。また、「ハンドボール投げ」でも平均を上回る結果となった。ただし、全体的に平均値を見てみると下回っているものも多いので、課題の残るスポーツテストの結果となった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

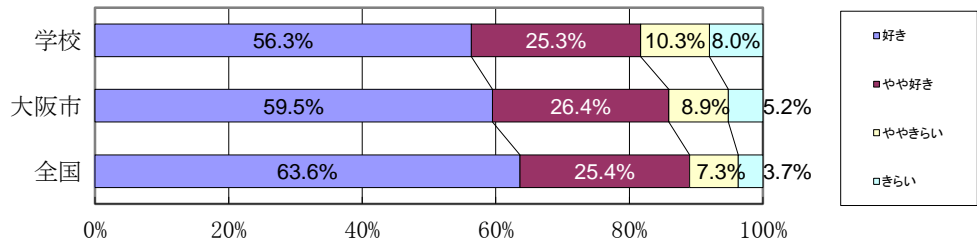
保健体育の授業の開始時に、毎時間行われているランニング、ラジオ体操、トレーニング、ストレッチを1年間続けてきた。そのことによって、基礎体力がついてきて、大阪市平均や全国平均を上回る結果が多数みられた。今後も、今までのような基礎体力を身に付けさせたうえでの授業展開をしていく必要がある。男子も女子も、特に「持久走」では全国平均を大きく下回る結果になっている。このことを受けて、全身持久力を向上させる取り組みを考えていかなければいけない。3学期には長距離走の授業と、マラソン大会を実施し、持久走に力を入れてきているが、1年間を通して全身持久力を身に付けるランニングを取り入れていく。アンケート結果では、男子が授業に対して「楽しい」「やや楽しい」と答えた生徒が71%しかいないので、授業で「楽しい」と感じることできる展開が必要である。そのための授業づくりを工夫し、今後改善していく。

運動やスポーツについて（男子）

質問番号	質問事項
1	運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか
2	自分の体力に自信がありますか
3	あなたにとって運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツは大切ですか
4	中学校を卒業した後、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか

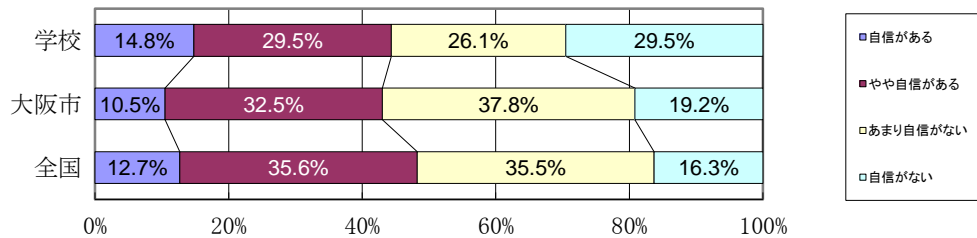
1

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



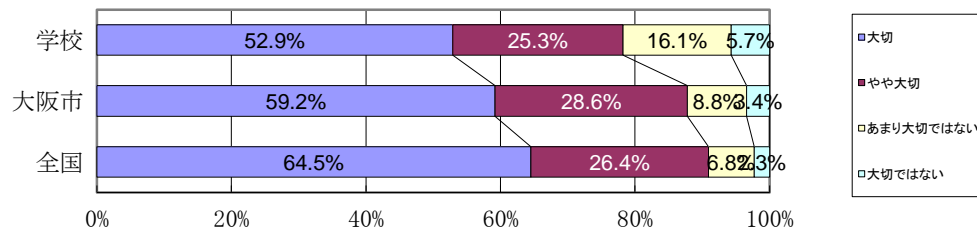
2

自分の体力に自信がありますか



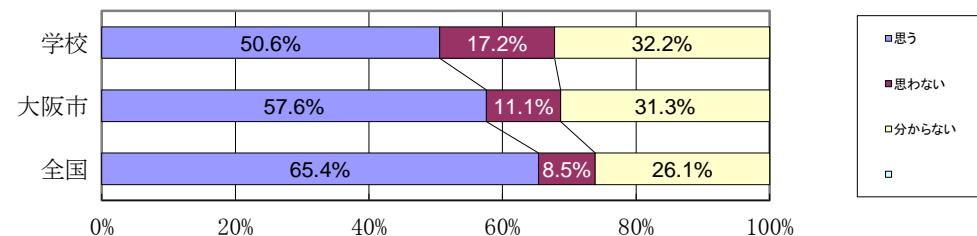
3

あなたにとって運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツは大切ですか



4

中学校を卒業した後、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか



成果と課題

運動やスポーツをすることが根本的に「好き」や、「やや好き」と答えた生徒は8割以上になるが、大阪市平均や全国平均と比べるとまだまだ低い。また、運動することが大切だと思っている生徒もあまり多くはなく、自主的に運動したいと思ってる生徒が少ない。これらのアンケート結果から、運動するだけでなく、運動することの大切さや楽しさを伝えられるように指導し、授業を工夫していく必要がある。

今後の取組

これからの授業の中で、運動することの大切さや、運動することによって得られる健康面への効果、またストレスや心身に良い影響を及ぼすことなどを伝えていく必要がある。そして、生徒自身が「スポーツは楽しい」と感じられるような機会をたくさんつくっていく必要がある。その経験を積むことで、生涯にわたって適度な運動を続けていく基礎をつくっていききたい。

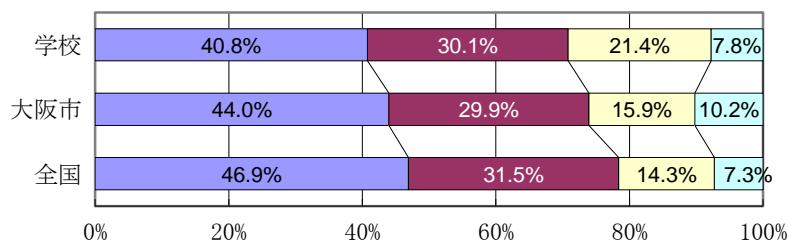
運動やスポーツについて（女子）

質問
番号

質問事項

1

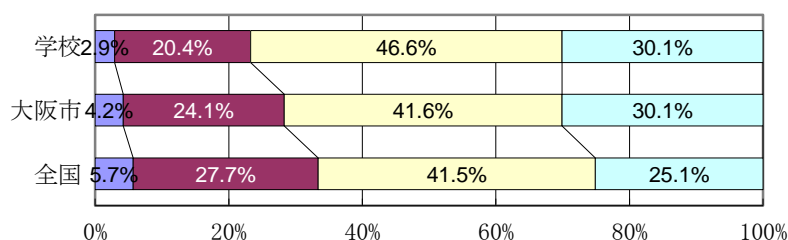
運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか



□ 好き
■ やや好き
□ ややきらい
□ きらい

2

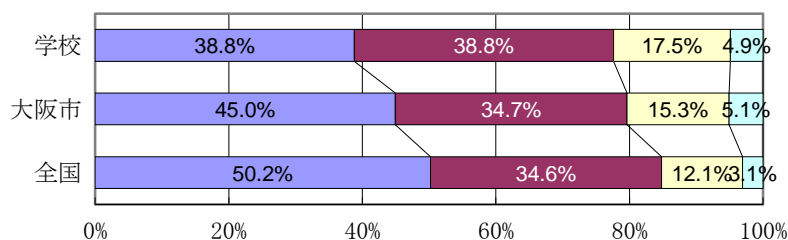
自分の体力に自信がありますか



□ 自信がある
■ やや自信がある
□ あまり自信がない
□ 自信がない

3

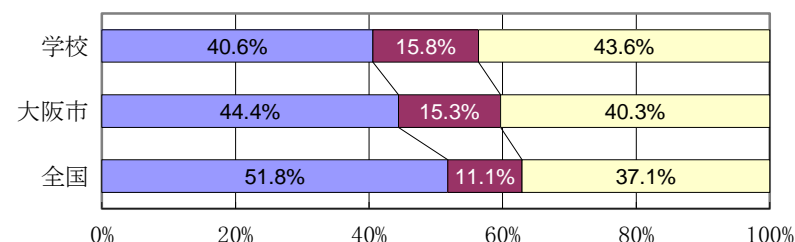
あなたにとって運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツは大切ですか



□ 大切
■ やや大切
□ あまり大切ではない
□ 大切ではない

4

中学校を卒業した後、授業以外でも自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



□ 思う
■ 思わない
□ 分からない
□

成果と課題

運動やスポーツをすることに対して、「好き」「やや好き」と答えた生徒が全国平均・大阪市平均よりも少ないが、「やや嫌い」と答えた生徒が全国平均・大阪市平均よりもかけ離れて多い。まずは、運動に対して興味を持てるように指導方法の工夫を行い、やってみて「楽しい、好き」と生徒が感じるようにしていく必要がある。そして、運動することの大切さや楽しさを学べる機会を増やすことで、生徒自身が将来の健康増進のために自主的に運動する機会を持てるようにしていきたい。

今後の取組

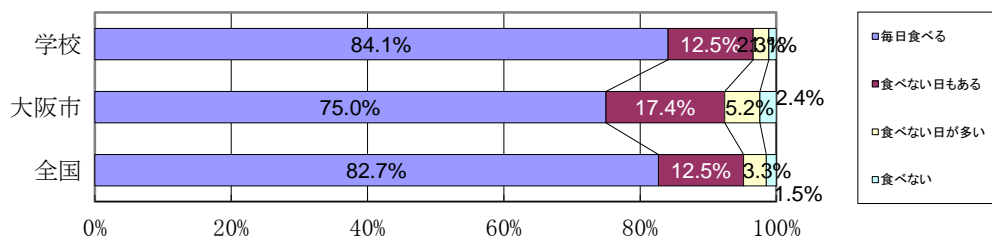
さまざまな運動・スポーツにおいて、授業で取り組む内容について、それぞれの生徒の状況に応じた目標の設定を工夫したい。そして、生徒自身が「できるようになって嬉しい」「スポーツは楽しい」と感じとれるような機会となるよう努めたい。また、健康を保持増進していくためには、生涯にわたって適度な運動やスポーツを続けていくことが大切であることを、普段の授業から「楽しい」という経験を積み重ねることで学んでいけるように取り組んでいきたい。

ふだんの生活について（男子）

質問 番号 質問事項

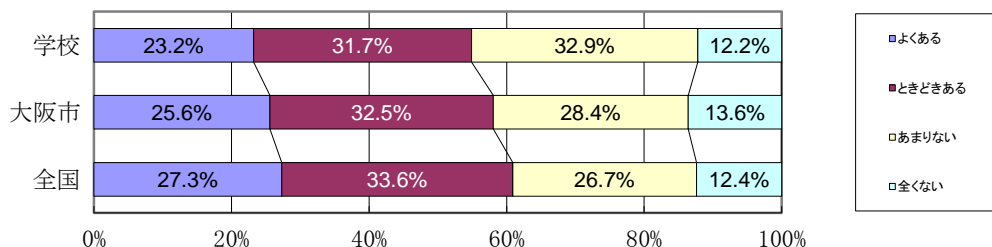
6

朝食は毎日食べますか(学校が休みの日も含める)



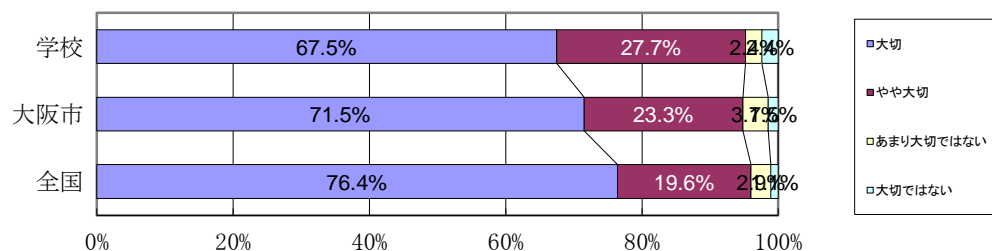
12

家の人から運動やスポーツを積極的に行うことを勧められることがありますか



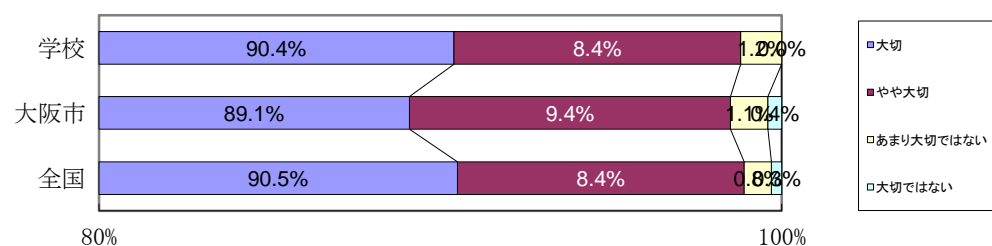
13

あなたが健康であるために運動を行うことはどのくらい大切だと考えていますか。



14

あなたが健康であるために食事をしっかり取ることはどのくらい大切だと考えていますか。



成果と課題

保健授業での「食に対する指導」、また、年間を通しての「食育」を行うことにより、食に対する意識は高い。ただし、食だけでなく、運動面においても意識を高くもつようにしていかなければならない。

今後の取組

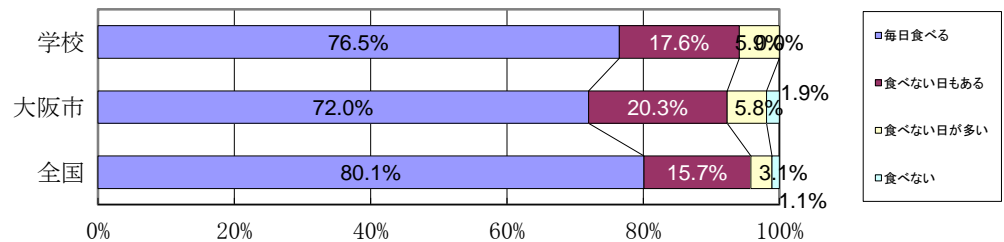
今後の授業においても、「食」に対しての授業やバランスを考えた食生活を指導していく。また、運動面においても意識して運動していくことの大切さを伝え、自分のライフワークに取り入れることができるように指導していく。

ふだんの生活について（女子）

質問 番号 質問事項

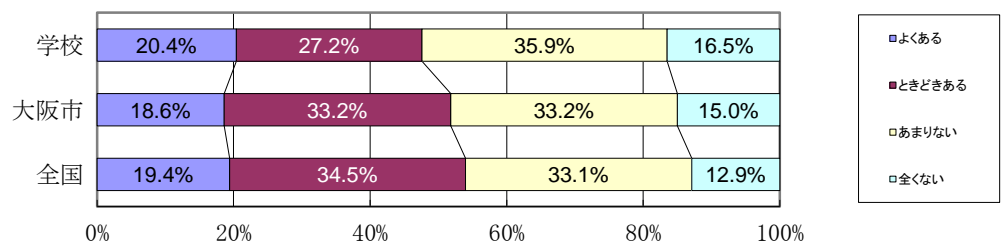
6

朝食は毎日食べますか
(学校が休みの日も含める)



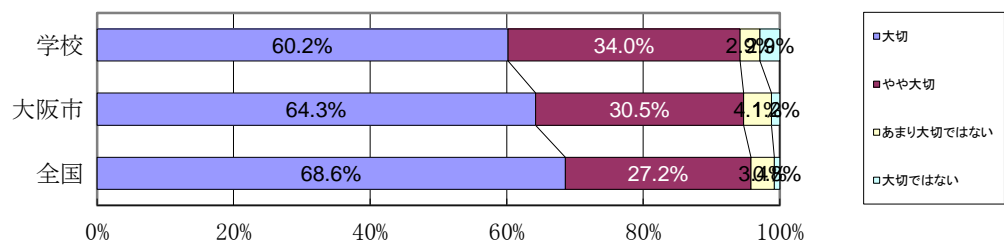
12

家の人から運動やスポーツ
を積極的に行うことを勧められ
ることがありますか



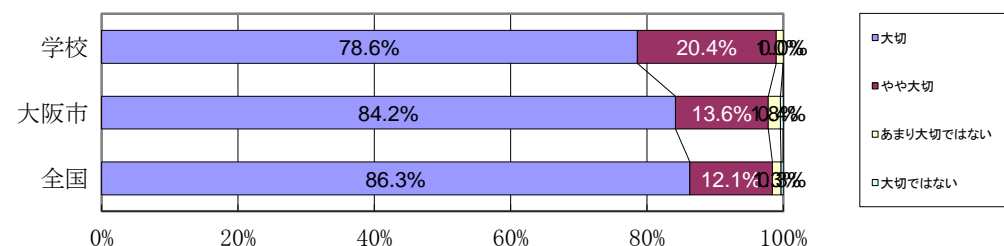
13

あなたが健康であるために
運動を行うことはどのくらい
大切だと考えていますか。



15

あなたが健康であるために
よくねることはどのくらい大
切だと考えていますか。



成果と課題

保健授業での「食に対する指導」、また、年間を通しての「食育」を行うことにより、食に対する意識は高い。さらに、運動することの大切さを伝え、自分自身が健康であるために「食」と「運動」が欠かせないということを意識させる必要がある。

今後の取組

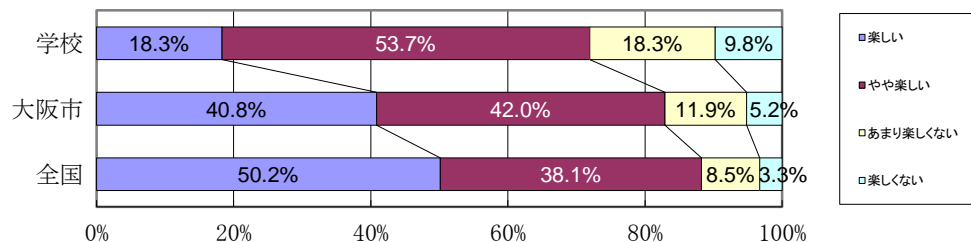
授業を通して、食生活の改善、正しい食習慣が身に付くように指導していく。また、運動面においても自分自身の能力と向き合い、生涯運動をしていくことの大切さを伝えていけるよう工夫する。

保健体育の授業について（男子）

質問 番号 質問事項

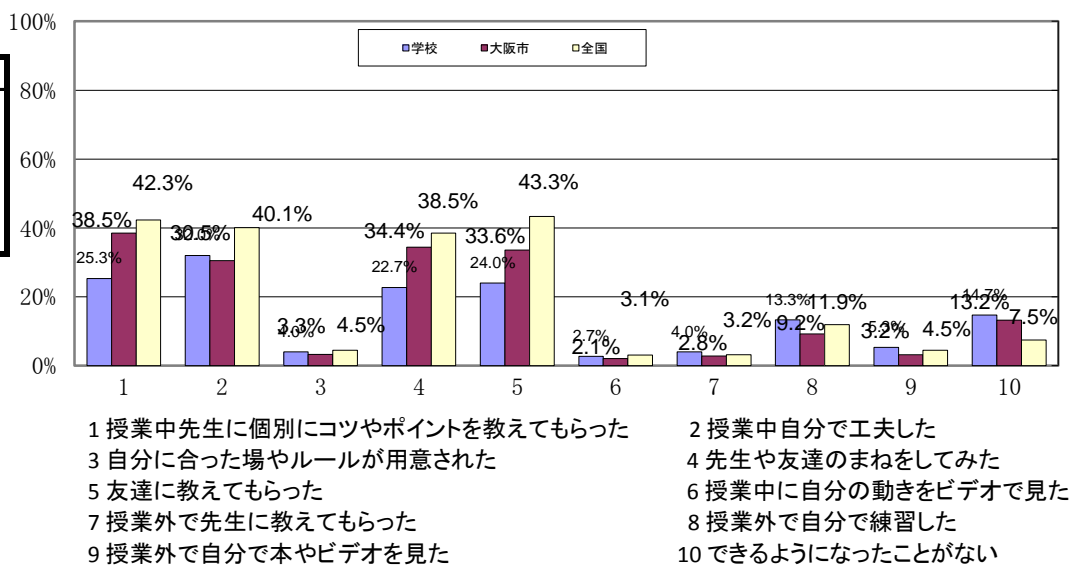
16

保健体育の授業は楽しい
ですか



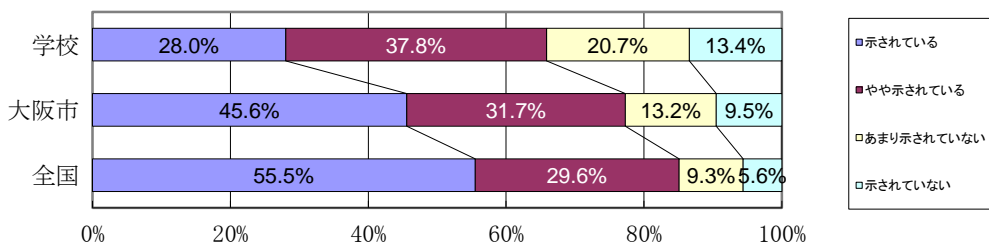
21

これまでの体育の授業で
「できなかったことができる
ようになった」きっかけ、理
由はどのようなものがありま
したか



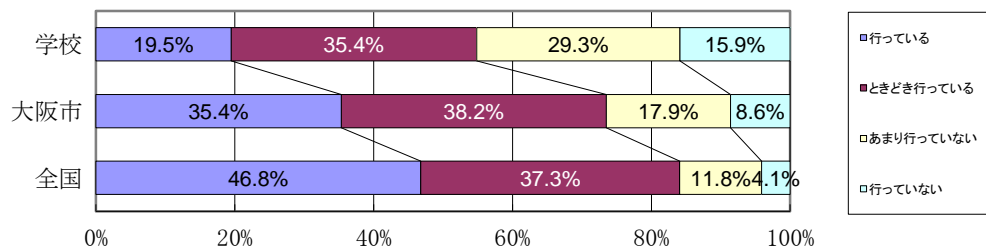
17

ふだんの保健体育の授業
では、授業の始めに授業の
目標(目当て・ねらい)が示さ
れていますか。



19

ふだんの保健体育の授業
では、友達と助け合ったり、
役割を果たすような活動を
行っていますか。



成果と課題

保健体育の授業において「楽しい」「やや楽しい」と答えた生徒が70%を超えているが、大阪市や全国平均と比べると、低い傾向にある。この結果を真摯に受け止めて授業の展開を工夫していかなければならない。また、全体的に「できるようになった」ということを感じる生徒が少ないので、ポイントの伝え方やお互い同士での学びあい、アドバイスをしあうなどができる環境づくりが大切である。

今後の取組

すべての項目において低い結果であるので、今後の授業展開において、運動することの楽しさを感じられる授業展開が必要である。また、グループ学習や、学びあう機会を授業の中でつくり出して、友達と助け合い、声を掛け合える雰囲気づくりを構築していく。その機会を積極的につくっていくことで、できることが増え、運動が楽しいと感じとれるようにしていく。

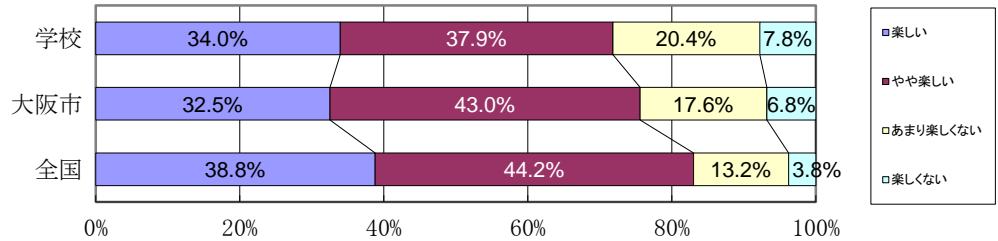
保健体育の授業について（女子）

質問
番号

質問事項

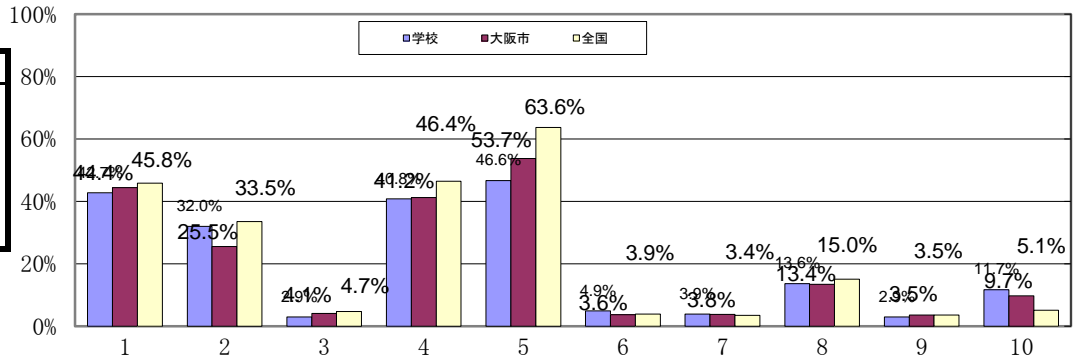
16

保健体育の授業は楽しい
ですか



21

これまでの体育の授業で
「できなかったことができる
ようになった」きっかけ、理
由はどのようなものがありま
したか

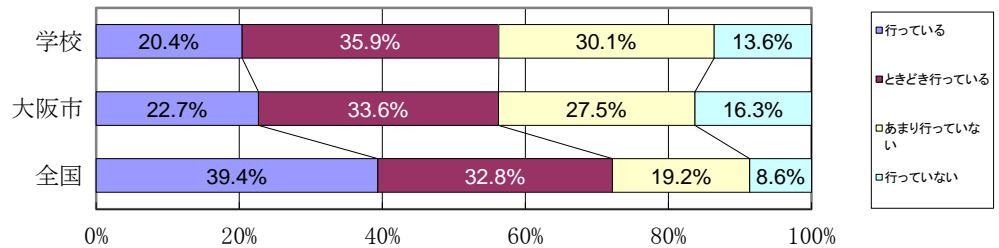


- 1 授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった
- 2 授業中自分で工夫した
- 3 自分に合った場やルールが用意された
- 4 先生や友達のまねをしてみた
- 5 友達に教えてもらった
- 6 授業中に自分の動きをビデオで見た
- 7 授業外で先生に教えてもらった
- 8 授業外で自分で練習した
- 9 授業外で自分で本やビデオを見た
- 10 できるようになったことがない

- 2 授業中自分で工夫した
- 4 先生や友達のまねをしてみた
- 6 授業中に自分の動きをビデオで見た
- 8 授業外で自分で練習した
- 10 できるようになったことがない

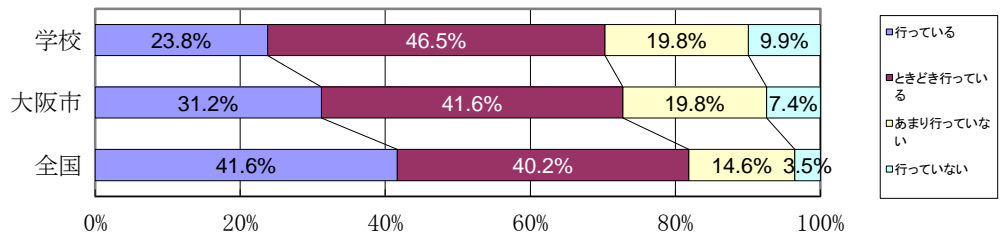
18

ふだんの保健体育の授業
では、授業の最後に今日
学んだ内容を振り返る活動
を行っていますか。



20

ふだんの保健体育の授業
では、友達同士やチームの
中で話し合う活動を行って
いますか。



成果と課題

保健体育の授業において「楽しい」「やや楽しい」と答えた生徒が70%を超えているが、大阪市や全国平均と比べると、低い傾向にある。この結果を真摯に受け止めて授業の展開を工夫していかなければならない。「これまでの授業でできなかったことができるようになったきっかけ」については授業中に自分で工夫している生徒がいることから、工夫した生徒をしっかりと褒め、全体としてしっかり評価できるよう努めていく。

今後の取組

すべての項目において全国、大阪市の平均を下回る結果となった。今後、授業を展開していく中で、運動することの楽しさを感じ、達成感がしっかりと得られるような授業を行う必要である。また、グループ学習や、学びあう機会を授業の中でつくり出して、友達と助け合い、声を掛け合える雰囲気づくりをする。さらに、客観的に自分を観察できるよう映像を利用するなどの工夫をして、運動が楽しいと感じるようにしていく。

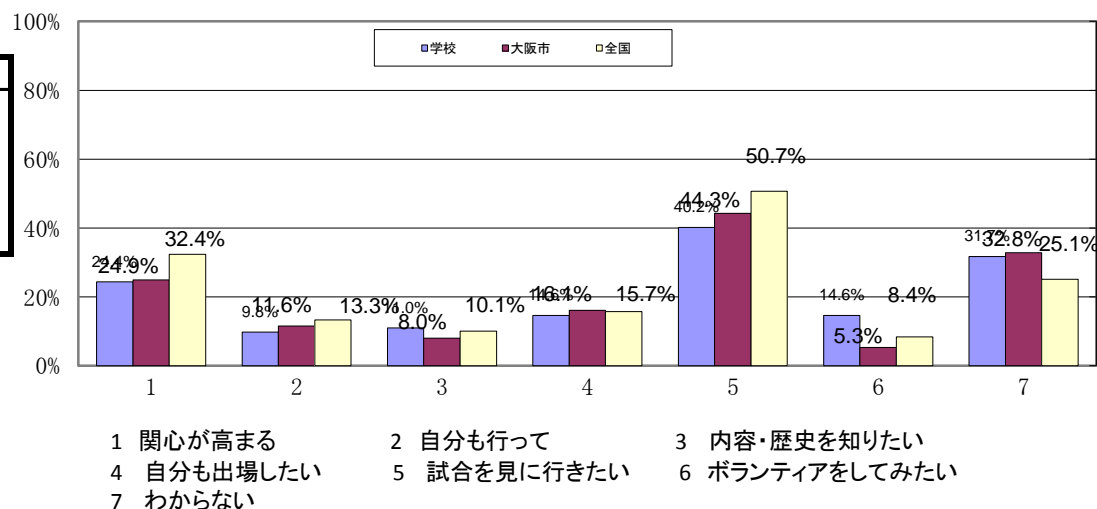
その他（男子）

質問
番号

質問事項

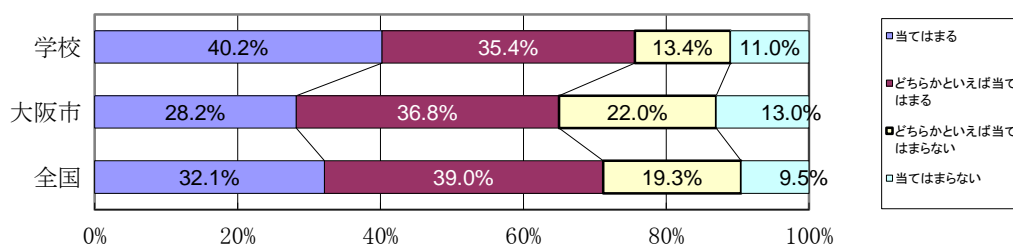
29

オリンピック・パラリンピックへの気持ち



32

自分には、よいところがあると思う



成果と課題

オリンピックやパラリンピックが4年後に日本の東京にやってくるということで、自分たちも試合に見に行きたいと思っている生徒が多い。また、見に行くだけでなく、ボランティアとして協力したいと思っている生徒が、全国平均や大阪市平均を超えていたのはうれしい結果である。自己肯定感が高い生徒が多く、自分には良いところがあると、自分で自分を認めることができている。大阪市平均より11%、全国平均より4%高い結果は良い傾向にある。

今後の取組

自己肯定感が高い状態を維持できるよう、些細なことでもできたことを認めて、伸ばしていく。また、まだできていない課題に対しても、粘り強く挑戦させ、より自分の良いところを伸ばしていけるように指導する。オリンピックなどの大きな大会だけでなく、様々なスポーツ大会の情報も共有しながら、興味関心を深められるようにしていく。

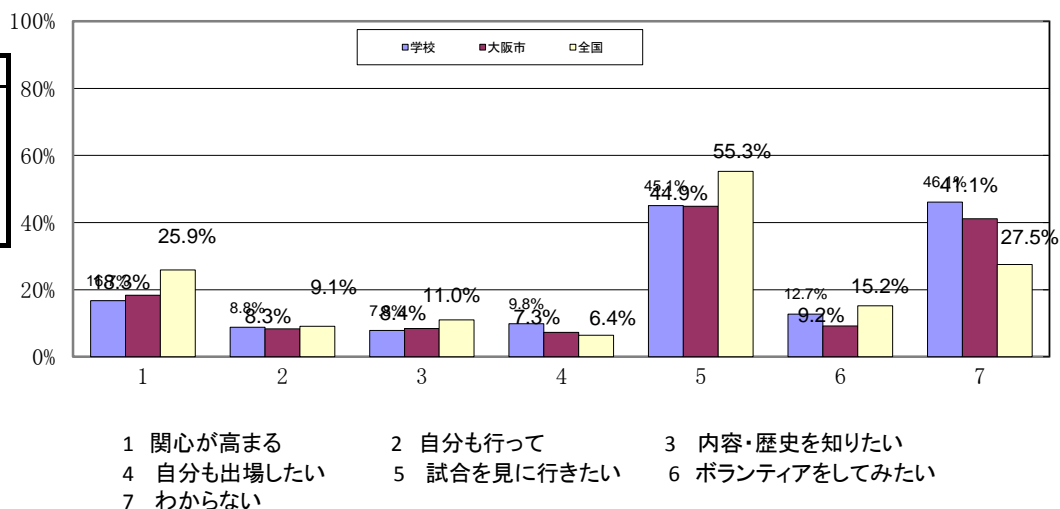
その他（女子）

質問
番号

質問事項

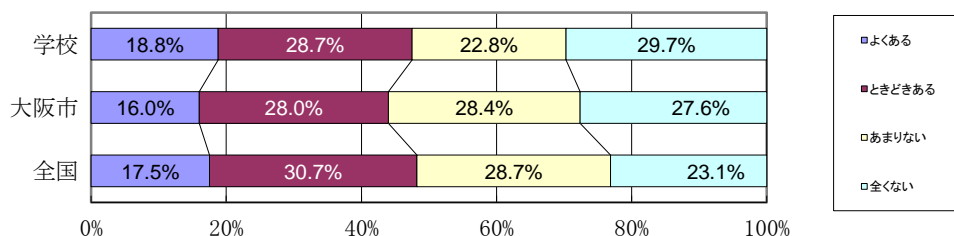
29

オリンピック・パラリンピックへの気持ち



26

放課後や学校が休みの日に、運動部活動や地域のスポーツクラブ以外で、運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることがありますか



成果と課題

オリンピックやパラリンピックが4年後に日本の東京にやってくるということで、自分たちも試合に見に行きたいと思っている生徒が多い。また、見に行くだけでなく、自分も出場したいと思う生徒が、全国や大阪市平均より多い。放課後の運動に関しては、運動している生徒は全国平均とほぼ変わらないが、全く運動しないという生徒が大阪市や全国平均より多いので、その生徒たちに対する働きかけが体力向上につながっていくと考えている。

今後の取組

オリンピックなどの大きな大会だけでなく、様々なスポーツ大会の情報も共有しながら、興味関心を深められるようにしていく。また、決められた時間以外で運動する生徒がいる中で、全くしない生徒が30%近くいるので、運動の楽しさを伝え、生涯にわたり運動を続けられるよう、運動の楽しさや心身の健康に対する影響などを指導していきたい。